

しらおいを 元気に！ 知っていますか？地域おこし協力隊

活動報告会を12月21日(火)18時から白老コミセン研修室204、205で開催

都市地域から白老に移住し、日々奮闘する隊員たちの活動体験談をぜひお聞きください。



食と観光振興担当
鄭延雪隊員
【苫小牧市から】



森林ガイド担当
藤田姫夏隊員
【札幌市から】



森林ガイド担当
野田和規隊員
【佐賀県小城市から】



観光振興担当
安田裕太郎隊員
【札幌市から】



文化芸術担当
山崎耕佑隊員
【札幌市から】



アイヌ文化振興担当
乾藍那隊員
【札幌市から】

地域おこし協力隊とは

過疎化や高齢化の進行が著しい地方が、都市地域の人材を協力隊員として受け入れ、地域力の維持・強化に取り組んでもらいながら、定住・定着へと結びつけることを目的としています。現在町では観光や芸術文化などの分野で上記6人の隊員が地域協力活動をしています。

問い合わせ先：企画財政課 企画統計グループ ☎82-2714

駒驥過隙、3年がたつのはあっという間。最初はすごく不安で、これから何ができるかを常に考えていました。白老町では中国とはまったく異なる出会いや感触を経験しました。私は協力隊として白老観光協会に所属しています。仕事の内容は観光案内や白老町の特産品のPRやデータ処理、電話応答、観光協会のFB管理補助などです。また、簡単な動画編集を学び、町の多くの事業者の助けを借りて撮影をサポートし、完成した動画をSNSで台湾と中国に発信しています。日本在住の台湾の方や香港の方が白老に来てくださり、彼らの満足を見て本当に



鄭延雪さん(33)

食と観光振興担当(3年目)

地域おこし協力隊通信

笑顔の接客とSNS発信。出会い大切に、観光客の満足がやりがい



うれしかったです。白老町に住むことも旅の感覚です。町のことを教えてくれた町民や助けてくれる町民に出会い、白老町が好きになりました。最終的に観光協会の仕事を続けて家族3人で白老に暮らすことを決めました。これからは白老町の美しさと魅力を発見し、町の振興に努めたいと思っています。白老にもっと多くの人が訪れてくれることが最大の目標です。

※広報元気は、地域を変える力として期待される協力隊員を順次紹介する企画を開始しました。

白老青年会議所 (JC)

2022年度理事長に蒲原さん 「まずは行動を！」



来年1月1日からの白老JC新理事長に、蒲原亮平さん(35)が再登板する。10月26日には直前理事長の笠井雄太郎さんら新役員と、戸田安彦町長を表敬しました。

蒲原さんは「この2年近くのコロナ禍を何とか乗り切ってきたので、これからはできなかったことをバンバンやっていきたい」と抱負を話しました。

具体的には「一からやっていきたい」と、組織改革や新委員会を設置した積極的な広報活動などを挙げました。戸田町長は、「まずは行動」と語るJCの面々を「若者の発想でどういうまちづくりをしていくか期待したい」と頼もし気に激励していました。



2022年度役員体制。左から笠井直前理事長兼副理事長、米本智昭副理事長、戸田町長、蒲原理事長、道見翔太専務理事